概 況 調 査 票

沢井の諏訪神社のエゾエノキ					No	096
調査日	平成19年08月03日(金)	天 候	晴 れ	主任調査員	小室 武利	
樹種名	エゾエノキ	学 名	*Celtis jessoensis*	科 名	ニレ科	
所有者又は管理者	氏 名	諏訪神社	所在地	相模原市　藤野町沢井639		
	種 別	○1. 公共機関 ◉2. 寺 社 ○3. 企 業 ○4. 個 人 ○5.その他民有				
樹木状況	○1.単 木 ○2.生 垣 ◉3.樹群中 ○4.その他（　　）					
生育環境の状況	立地場所	○1.庭園・屋敷林 ◉2.寺 社 ○3.街 路 ○4.ビル周辺 ○5.公 園 ○6.その他（　　）				
	周囲の状況	○1.芝 生 ◉2.樹 林 ○3.建物の間 ○4.道 路 ○5.河 川 ○6.耕 地 ○7.その他（　　）				
	日照条件	◉1. 良 ○2.普 通 ○3.やや不良 ○4.不 良				
	土地の傾斜	○1.平坦: 0°～ 5° ○2.緩傾: 5°～15° ○3.中傾:15°～30° ○4.急傾:30°～45° ◉5.嶮傾:45° 以上　傾斜方向（　　）				
	土 壌	◉1.自然土 ◉a.堆積土 ○b.崩積土 ○c.削剥土 ○d.その他 ○2.盛土・客土 ○3.切土				
	根元近くの工作物	○1.縁 石（素材等:　　）○2.植 桝（素材等:　　） ◉3.その他（石垣　　）				
管理状況	1.柵 ○有 ◉無 ［有の場合:a.高さ(　　)cm b.素材(　　)］ 2.支柱 ○有 ◉無 3.剪定 ○強 ○弱 ◉無 4.定期的剪定 ○有 ◉無 5.施肥 ○有 ◉無 ［有の場合: a.回数(　　) b.量(　　) c.種類(　　)］ 6.薬剤散布 ○有 ◉無 ［有の場合: a.回数(　　)b.種類(　　)］ 7.その他 （　　）					
形状寸法	樹 高	33.7 m	幹 周	主幹胸高(1.2m)の周囲長　3.76　m		
	株立本数と周囲長	1 本	①　②　③　④　⑤ ⑥　⑦　⑧　⑨　⑩			
	枝下高	14.4 m	枝 張	東　4.7　西　6.2　南　10.0　北　5.1　m		
	樹 齢	370 年	樹齢根拠	推　定		
	根元の状況	○1.裸地 ◉2.草地・地被類 ○3.灌木・低木 ○4.舗装　（　　） ○5.覆土　厚さ(　　)cm 土性(　　) ○6.その他(　　)				
特記事項	近接のケヤキは津久井の名木「ケヤキの双樹」					

外 観 等 調 査 票

沢井の諏訪神社のエゾエノキ						No	096
樹 種	エゾエノキ	調査日	平成19年08月03日(金)	天 候	晴 れ	樹木医	小室 武利

外 観 調 査

	評 価	0	1	2	3	4	
樹木の活力度	樹 勢	旺盛な生育状況を示し被害が全くみられない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状態が劣悪で回復の見込みがない	ほとんど枯死	
	樹 形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊している	

被害の状況	被害の有無	○ 無 ◉ 有
	被害の部位	◉ 大枝 ◉ 大枝付け根 ◉ 幹 ○ 幹分岐部 ○ 根元 ○ 根系
	被害部の概要 その他	・大枝折損、腐朽空洞 ・幹空洞(枝抜け後)
処置	処置の必要性	○ 無 ◉ 有 (○ 緊急を要す ○ 中期的に対応が必要 ◉ 長期的には対応が必要)
	処置内容	・南側大枝の腐朽の進行状況の確認調査

名 木 実 態 調 査

樹木の価値	景観性	◉ 遠方からの視認性が高く、シンボルやランドマークとしての価値が高い ○ 周辺樹木と一体となって地域の景観形成に寄与している ○ 周囲から見えにくく、景観的価値は高くない ○ その他 ( )
	地域環境	◉ 緑陰による気温調節効果 ◉ 防風効果 ○ 遮音効果 ○ その他 ( )
	生 態	○ 無 ◉ 有(種類: 野鳥、昆虫類) その他特記:
保全実態	保全の主体	○ 所有者 ○ 自治体 ○ その他 ( )
	助成の有無	◉ 無 ○ 有(内容:)
	保全の内容	指定等: な し
	その他特記	

診 断 ・ 治 療 履 歴

履歴時期		主治医:
治療内容		
主治医メモ		

樹 形 写 真

沢井の諏訪神社のエゾエノキ	No	096

東　面

西　面

南　面

被害部等詳細写真

沢井の諏訪神社のエゾエノキ	No	096

詳細写真−1	詳細写真−2
・大枝折損、腐朽、空洞	・幹空洞